

開催日：令和 5 年 6 月 7 日

会議名：令和 5 年第 5 回定例会（第 1 日 6 月 7 日）

○西本ちかこ それでは、私からは、大きく 2 点。

まず、1 点目、少子化対策の一環としての病児・病後児保育について、質問いたします。

国の病児保育事業が平成 21 年に始まり、本市としても平成 22 年に始まったと理解をしております。

本来は、子供が病気になったときには、子供と一緒に仕事を休める社会が理想ですが、全国病児保育協議会の病児・病後児保育の理念の一つには、子供が病気をすると、親は最も困難に感じ、不安に陥り、社会で親を支える必要があると上げられています。身内が近くに住んでいない、お独り親家庭やシングルマザー、非正規雇用やパートで働く方においては、仕事を休んだ分、収入減となる、また、仕事が忙しく、ほかに引き継ぐことができないなど、仕事を休めない状況もあられたり、病児保育を必要とされる方がいらっしゃると思います。お独り親家庭の方々や、ほかにも病児保育を使いやすくしてほしい、また増やしてほしいとのお声も聞いております。

そこで、まずは、本市の状況について、お伺いいたします。

本市の病児・病後児保育の事業者の数、コロナ禍以前、令和元年とコロナ禍の中の令和 2 年、令和 3 年、令和 4 年度の病児・病後児保育の利用者数について、お聞かせください。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行した今、利用できるのか、現在の状況をお聞かせください。

利用方法の中から、利用要件について、対象児童、予約時間、利用可能時間、定員と、また所得に応じ、無料、1,000 円、2,000 円の利用料金がかかりますが、利用料金以外の実費負担について、お聞かせください。

本事業について、委託事業か補助事業なのか、また、今年度の本市の予算と国・府からの交付金についてもお聞かせください。

○山崎こども育成部長 病児・病後児保育について、事業者数は、病児保育が 2 者、病後児保育が 2 者ございます。

病児保育の利用者数は、令和元年度が 620 人、2 年度が 5 人、3 年度が 10 人、4 年度が 6 人となっております。病後児保育の利用者数は、令和元年度が 120 人、2 年度が 60 人、3 年度が 50 人、4 年度が 78 人となっております。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行してからの状況でございますが、上気道炎様症状のある方の受入れはしておりません。

利用要件について、病児保育は、対象が生後 6 か月から小学校 3 年生までの児童、

予約受付時間は平日の午前9時から午後6時まで、利用可能時間は平日の8時30分から午後6時まで、定員は各施設6人、実費負担は食事・おやつ代として500円程度となっております。

病後児保育は、対象が認可保育所等に入所している1歳児クラス以上の児童、予約受付時間及び利用可能時間は平日の午前8時から午後6時まで、定員は各施設2人、実費負担は食事・おやつ代として500円程度となっております。

事業の種類と予算額について、病児保育は委託事業であり、令和5年度の歳出予算は3,081万3,000円で、病後児保育は補助事業であり、令和5年度の歳出予算額は1,412万4,000円です。いずれも国及び府からの交付金を活用しております。

○西本ちかこ ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからの現在の状況については、コロナ感染症の診断がされていなくても、上気道炎様症状のある方の受入れはしておられないとのことですが、様々動向見られている状況とは思いますが、できるだけ早く元の受入れができるよう、進めていただきますよう、お願いをいたします。

近隣他市の中から、本市より利用者数の多い吹田市、豊中市について、問合せをしてみました。吹田市には、病児・病後児保育室は、委託事業5か所、補助事業1か所の合計6か所あります。利用者のお声やニーズが多いことなどから、令和元年に目標の6か所目設立に至ったそうです。利用者数は、病児・病後児合計利用者としてしか数えられていませんでしたが、コロナ禍が完全に収束していない令和4年度2,400人、コロナ前の令和元年是3,390人もの利用がありました。豊中の事業所数は、全て補助事業の3か所ですが、利用者数については、2か所だった事業所を、こちらでも利用者が多いことから、3か所に増やした平成24年には4,009人、平成30年は3,043人、令和元年是3,469人、コロナ禍の令和2年でも1,114人だったそうです。

本市の2か所の利用人数が病児・病後児合わせて、コロナ前は、令和元年740人、令和2年65人、令和3年60人、令和4年84人と、少ない理由について、利用しにくい原因があるのか、こちらも吹田市と豊中市の2市を比べてみました。利用料金や利用方法については、国の事業の定めるところですので、前日にかかりつけ医、または病児保育室併設医院で診察を受け、診療情報連絡票を記入いただくなど、茨木市と共通です。利用可能日も平日のみです。

定員は、本市は病児が6人、病後児保育は2人、吹田市は6人から9人、豊中市の1事業所は、病児の状況によるそうですが、20人受入れ可能な箇所もございました。

利用時間は、本市は午前8時半から午後6時に対し、吹田市は1時間30分長い、午前8時から午後7時、豊中市も30分長い、午前8時から午後6時です。

本市の予約時間ですが、平日午前9時から午後6時までですが、吹田市は午前8時から午後7時までと、2時間長いです。

利用可能者について、本市は小学校3年生までで、居宅内外で月64時間以上労働することを常態化しているなど、保育所に預けている方が対象です。こちらに対して、豊中市は、小学校4年生まで受け付けできます。また、保育所に通っていないくても、傷病、出産、冠婚葬祭など、やむを得ない事情により家庭での育児が困難な児童を対象とされています。また、1か所については、送迎サービスを行っているということが分かりました。吹田市は、予約について、ウェブサービスを行っています。また、吹田市全域に満遍なく6か所の病児・病後児保育室が点在をしており、豊中市は、どちらも駅から近い立地でした。

本市の利点としましては、月曜日の予約受付時間を前週土曜日の午前9時から正午までに改善をいただいているところです。

コロナ禍の中、気をつけながら、大変な緊張感の中も、病児・病後児保育室において一時的に児童をお預かりいただき、ご協力をいただきながら、この事業を行っていることに感謝をしておりますが、利用者が少ない状況について、課題があると捉えられているか、お考えをお聞かせください。

また、利用の待ち人数、利用者がいっぱい利用を断らないといけないようなことはあったのか、確認させてください。

そして、子ども・子育て支援計画において、病児・病後児保育の事業所についての増設の予定はあるか。

また、阪急茨木市駅の誘致予定病院への病児・病後児保育室の設置について希望するところですが、お考えをお聞かせください。

○山崎こども育成部長 利用者が少ないことについて、利用者が安全に安心して制度利用いただけるよう、感染動向などを見極めながら、実施事業者と協議を進めております。

定員を超えたために利用をお断りした事例について、コロナ禍以前も含めて、これまでございませんでした。

子ども・子育て支援計画における増設の予定について、第4期計画の見直しにおきまして、令和6年度に病児保育の実施箇所数を1つ増やす目標を掲げております。

誘致予定病院への病児・病後児保育室の設置について、基本整備構想や募集要項の公募条件にも盛り込んでおらず、誘致病院での事業実施は考えておりません。

○西本ちかこ ご答弁ありがとうございます。

茨木市の令和5年の0歳児から小学校3年生までの人口は、約2万5,000人を推移する予想でした。多くの方に利用いただくことが目標ではありませんが、府・国

の約3分1ずつの交付金と、プラス委託事業費を本市としてもお使いをいただいているところがございますので、利用したい方が利用したいときに利用しやすい、そして、そういった方の多くの方に利用いただける病児・病後児保育であってほしいと思います。より利用しやすい事業になるように、いま一度、利用方法、利用内容など、お声に寄り添っていただきたい、改善、増設に努めていただけるよう、ご検討いただきたいと思います。

また、阪急茨木市駅前に誘致される病院へも、公募内容に記載がなかったといたしましても、ふさわしいとご判断いただけるようでしたら、交渉いただくことを要望させていただきます。

令和6年度、もう1か所増やす目標があられるとお聞きしました。利便性もお考えいただきながら、できるだけ早くの開設を要望し、私からのこちらの質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

続きまして、2点目、元茨木川緑地の桜と、そのほかの樹木の伐採について、質問させていただきます。

元茨木川緑地は、市の中心部を通り、南北にわたり全長5キロ続く茨木市のシンボルで、市民の心のよりどころ、憩いの場でもあります。開設から50年が経過し、このたびのリ・デザイン計画ということですが、市民の方からは、多くの木が伐採されていることに、なぜとの、木の伐採を悲しむお声を多く聞いています。桜通りなのに、八重桜や様々な桜が減っている、今年は鳥の鳴き声も少なくなった、これからどうなるのかなどのお声を聞いております。

そこでお伺いをいたします。桜の種類と本数につきましては、建設常任委員会でも他の議員からの質問がありましたが、改めて、元茨木川緑地で把握をしている樹木の全体数、樹木診断などにより伐採を必要としている樹木の本数、令和4年度に伐採をした桜の木と桜以外の樹木の本数、伐採が必要な理由を教えてください。

樹木の伐採については、私も切り株の年輪を見ると悲しい気持ちになります。伐採理由を市民の方にも知っていただく必要があると思います。

今年1月の広報の中で、リ・デザインについて少し触れられていますが、樹木医によって診断され、伐採が致し方ないことを市民の皆様へどのような形で周知をされましたでしょうか、お聞かせください。

○藤田建設部長 元茨木川緑地における桜等の樹木伐採の内容と周知についてでございます。

調査した樹木は、2メートル以上の中高木であります。全体数6,090本、樹木診断により、伐採等、処分が必要な樹木は約300本で、令和4年度からは、市消防本部前交差点から中央公園北交差点までの区間を工事しており、伐採した桜の木は57本、それ以外は32本でございます。

伐採の理由ですが、元茨木川緑地は整備後50年ほど経過し、樹木も大木化、老木化しており、植物が健全に育成し、倒木リスクの軽減を図るためには、不健全な樹木の伐採、剪定、補植は一定必要であると考えております。

伐採等、元茨木川緑地の植栽管理については、ホームページやSNS等で周知を図っておりますが、今後、樹木伐採作業では、植栽環境の健全化のために必要であることを現地に掲示するなど、より趣旨、目的の周知を図るよう、努めてまいります。

○西本ちかこ 桜の木が57本、それ以外の樹木が32本切られ、切り株があちらこちらに残っていることは少し残念ですが、元茨木川緑地の大木は、枝が伸びた街路樹を切るのとは違います。

やはり現地に、健全化のため、倒木のおそれがあるために伐採が必要なのだと周知をいただくことで、市民の皆様にもご納得をよりいただけるのだと思いますので、丁寧な説明をよろしくお願いいたします。

また、おにクルの1階にできる屋内こども広場で、伐採樹木を活用した遊具を作製いただけると、先日の市民会館跡地等整備対策特別委員会でも伺いました。樹木を再利用することは本当に大変なことだと思いますが、ご尽力に感謝をいたします。

続きまして、今後、元茨木川緑地の樹木について、植樹予定本数と計画など、方向性についても教えてください。

○藤田建設部長 緑地における樹木伐採の今後の方向性についてでございます。

今後の植樹予定本数につきましては、具体的には定めておりませんが、市民、専門家と共に、元茨木川緑地リ・デザイン計画、元茨木川緑地植栽管理ガイドラインを作成しており、それらに基づき、元茨木川緑地全体で桜と四季が楽しめるよう、樹木医等の診断を基に、不健全な樹木の伐採や剪定、補植などを行い健全化を図る取組を進めており、引き続き計画的に植栽環境を整えてまいります。

○西本ちかこ ありがとうございます。

元茨木川緑地全体で桜と四季が楽しめるように、取組と整備を進めていかれるとのことで、楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

2021年の新聞のコラムによりますと、函館、五稜郭公園の1,500本の桜の大半は樹齢60年以上で、100歳を超える老木もあり、十数年ぶりに公園担当に戻られた担当者は、樹木の勢いの衰えに驚き、桜で名高い青森、弘前公園を訪ねて教を請い、初めての試みで、お礼肥プロジェクトを実施されました。長年目を楽しませてくれた桜への感謝を込めて、木々に肥料をあげる試みだそうで、ボランティアを募ると、予想をはるかに上回る延べ400人が参加されたそうです。

今回、桜や木々の伐採に疑問をお持ちの市民の方々へ、伐採は、茨木市のシンボル

でもある元茨木川緑地の桜を大切に思っていることであると知っていただく機会が必要ではないでしょうか。日頃から桜をみんなで守ろうと、樹木医の方に説明をいただく機会や茨木市の桜について知る機会を試みてはいかがでしょうか、お考えをお聞かせください。

○藤田建設部長 緑地における樹木の健全化に向けた市民等との関わりについてでございます。

元茨木川緑地リ・デザイン事業の推進に当たり、市民と何らかの関わりを持つことは非常に重要であると認識しており、これまでから取り組んでいるところでございます。

市民による肥料やりにつきましては、専門的な知識が必要なこともあり、場合によっては樹木に悪影響を及ぼすこともあることから、慎重な検討が必要ですが、市民による肥料やりを含め、市民との関わりを持つための手法の検討を引き続き行ってまいります。

○西本ちかこ ご答弁ありがとうございます。

以上で私からの質問を終わらせていただきます。